

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	ホームページ運用事業			事業コード	1465
所属コード	120500	課等名	広聴広報課	係名	広報係
課長名	大倉慎澄	担当者名	村井聡	内線番号	3637
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	8
	施策	市民とともに作る行政の実現	コード	3
	基本事業	分かりやすい行政情報の提供	コード	1
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 2 目 市政広報活動事業 (005-01)			
特記事項	総合計画主要事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 8 年度	
根拠法令等	なし			

(2) 事務事業の概要

盛岡市の公式ホームページにおいて、新規の市政情報提供と掲載情報の更新を行う。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

インターネットの普及に伴い、ホームページから市政情報を発信できるようになったことによる。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

情報通信技術の進展により、紙や電子媒体を融合した広報活動が求められている。また、新たな電子媒体が次々と誕生していく中で、効果的かつ総合的な媒体活用の対応が求められている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

中学生以上の市民

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 盛岡市の人口	人	298,853	299,220	299,220	299,585	299,585
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

平成24年2月の市公式ホームページ全面リニューアル後も、引き続き次のことに留意し、ホームページの充実を図った。また、25年6月から動画の掲載を開始した。

- ・アクセシビリティに配慮した掲載記事等の調整
- ・記事作成に係る各課等への支援や指導の強化
- ・バナー広告掲載による歳入の確保

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A HP更新・追加ファイル数	ページ	12,029	10,057	13,000	9,803	13,000
B						
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

ホームページで市政の情報がいつでも誰もが入手できるようにする。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A トップページのビューカウント(月平均)	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	カウン ト	118,320	145,452	150,000	140,207	150,000
B 携帯版トップページのビューカウント (月平均)	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	カウン ト	5,054	3,306	3,300	1,838	3,300
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,750	1,700	1,700	1,700
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	7,000	6,800	6,800	6,800
計	トータルコスト A+B	千円	7,000	6,800	6,800	6,800
備考 ホームページサーバーの借上げなどの費用は、情報企画室で所管。						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

市政情報を積極的に提供することで、市政への理解が深まり、市民参画が促進される。

② 市の関与の妥当性

市政情報を提供することは市の責務であることから、市の関与は妥当である。

③ 対象の妥当性

広報活動の主な対象は盛岡市民であるが、ホームページの性質上からも県内・国内・国外への拡大余地がある。

④ 廃止・休止の影響

広報紙と並ぶ市の自主広報媒体であり、廃止の際の影響は計り知れない。特に、即時性のある広報手段を欠くことになる。また、広報紙を入手できない市外の人へ情報を提供する手段がなくなる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

市政情報を適宜・適切に発信する職員の意識向上が必要。新たなシステムの導入という機会を活かし、より一層分かりやすい情報発信に努めるため、継続的な庁内研修などを行う。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

ホームページは誰でも閲覧することが可能であるほか、市政情報の提供は市の責務であることから、受益者負担はなじまない。

(4) 効率性評価

各課担当者の技術向上による人件費削減は可能。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

アクセシビリティやユーザビリティへの配慮をより一層進めて、適時・的確な市政情報の発信に努める。また、フェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーキングシステム）の導入とホームページとの連携による情報発信について、検討を進める。

また、シティープロモーションの観点から、全国への情報発信を進めていく必要がある。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

多くの媒体を効果的に利用した広報活動を行うために、情報を発信する職員の意識醸成が必要である。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

平成 23 年 2 月に市ホームページのリニューアルを行って以降、アクセシビリティに配慮しながら、順次新たな企画等に取り組んでおり、25 年度は市ホームページ上で動画の掲載を開始した。引き続き、適時・的確な情報発信と、シティープロモーションを意識した取組を行っていききたい。

また、平成 26 年 2 月に広報戦略指針を策定し、その取組の一つとして、26 年 6 月からフェイスブックを導入することとした。引き続き、新たな媒体の導入を含め、効果的な情報発信について検討を進めることとする。